

第8 水痘

要 約

2018年度の調査は、4都府県で1,218名の水痘抗体調査が実施された。Enzyme Immunoassay (EIA) 価4.0以上の抗体保有率は全体で73.2% (892名) であった。1歳の抗体保有率は、25.8%と前年度よりも低下した。2歳および3～4歳はそれぞれ47.9%、39.3%と、前年度とほぼ同じであった。定期接種化前と比較すると抗体保有率は上昇が認められるものの、依然として低い水準であった。20歳以上全体の抗体保有率は85.0%であり、2014年調査開始以降最も低く、多くの感受性者 (15.0%) が認められた。定期接種年齢である1～2歳の1回接種者及び2回接種者の抗体保有率は、それぞれ15.6%及び56.7%であった。2014年10月の定期接種化後、水痘の患者報告数は大きく減少しており、定期接種化による効果は明らかである。今後も解析対象者数を増やして抗体保有率の推移をしっかりと把握していくことが重要である。

1. まえがき

2014年10月から水痘が定期接種対象疾病に導入されたことに伴い、2014年度から水痘の感受性調査が開始された。水痘は、主に小児に好発し、発熱、発疹などを主徴とする急性のウイルス感染症であり、重篤になると入院例や死亡例も認められる。日本では、水痘ワクチンの定期接種化前は、年間約100万人が罹患、年間約4,000人が入院し、約20人が死亡していると推定されてきた¹⁾。水痘ワクチンは、白血病やネフローゼ症候群等、免疫不全状態の小児を水痘から守るために大阪大学の故高橋理明博士らによって開発された、わが国発のワクチンである²⁾。日本では1987年から1歳以上の小児への接種が認可されたが、任意接種であったため接種率は低く推移してきた。海外では、米国で1995年に小児の予防接種スケジュールに水痘ワクチンが導入され、2006年から2回接種に変更されたことにより、水痘患者の発生数、入院数及び死亡数の激減が認められた³⁾。わが国でも、2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種化され、生後12月～36月に至るまでの間にある者 (1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日まで) を対象とし、3か月以上 (標準的には6～12か月) の間隔をおいて2回の接種を行うこととなった。また、2014年度 (2014年10月1日～2015年3月31日) に限り、生後36月に至った日の翌日から生後60月に至るまでの間の者にも1回の接種が定期接種として実施された。定期接種化後、海外と同様に、日本においても、水痘患者報告数は激減している⁴⁾。

2. 感受性調査

(1) 調査目的

ヒトの水痘帯状疱疹ウイルスに対する抗体保有状況を調査し、水痘ワクチンの効果を把握すると共に、今後の流行予測と予防接種計画策定の資料とする。

(2) 調査対象

調査は、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府の4都府県で実施された。各都府県において、0～1歳、2～3歳、4～9歳、10～14歳、15～19歳、20～24歳、25～29歳、30～39歳、40歳以上の9年齢区分を設け、各年齢区分から原則22名ずつ、計198名、合計で792名を予定対象数とした。

(3) 調査時期

原則として2018年の7月から9月。

(4) 調査内容

対象者から採血し、市販のキットを用いて血清中の水痘IgG抗体価(EIA 価)を測定するとともに、採血年月日、年齢、月齢、性別、予防接種歴、罹患歴について調査した。抗体価の測定に際しては、市販のコントロール血清を用いて検証した。なお、抗体価の測定に関する詳細は、キットの添付文書に準じた。

(5) 調査結果

A) 調査対象数

2018年度は4都府県の合計1,218名の水痘IgG抗体価が測定された。年齢別調査数は、0～1歳89名、2～3歳83名、4～9歳123名、10～14歳107名、15～19歳104名、20～24歳112名、25～29歳111名、30～39歳164名、40歳以上325名であった(表1および2)。

B) 年齢別水痘抗体保有状況

図1と表3に年齢別水痘抗体保有状況を、図2と表4に年齢群別水痘抗体保有状況を示した。抗体陽性とされるEIA 価4.0以上の抗体保有率は、全体で73.2%であった。定期接種対象年齢の抗体保有率は、1歳25.8%及び2歳47.9%であった。また、2回の定期接種を受けた可能性のある年齢群3～4歳、5～6歳の抗体保有率は、それぞれ39.3%、47.1%であり、1～6歳は低い抗体保有率であった。その後、年齢が上がるにつれ抗体保有率は上昇傾向を示し、7～9歳51.0%、10代では76.6～88.5%であった。2014年調査開始以降20歳以上の全体の抗体保有率は約95%で推移していたが、2018年度の調査では85%と低く、20歳以上に多くの感受性者(15.0%)が認められた。

図3と表5には、乳児月齢別水痘抗体保有状況を示した。前年度に引き続き、0歳児の調査対象者数が少なく、全ての月齢で10名未満であったため、その傾向を判断するのは難しい。しかしながら、抗体保有率は0～5か月齢で0%(0/9名)、6～11か月齢で11.1%(2/18名)であり、ワクチン接種可能年齢までの間、ほとんどの乳児が抗体を保有していないと推察された。

C) 予防接種歴別水痘抗体保有状況

接種歴不明を除く全体の1回以上接種群の予防接種率(表6)は、46.6%(1回接種22.8%、2回以上接種17.2%)であった。1歳及び2歳の予防接種率は、それぞれ85.4%(同61.0%、22.0%)及び100%(同24.1%、72.4%)であり、また、3～4歳97.4%(同20.5%、74.4%)、5～6歳91.9%(同18.9%、70.3%)と、定期接種の対象となった年齢群は、他の年齢群と比較して接種率が高く、また、2回以上接種率は前年度と同程度であった。都府県別の接種歴不明を除く予防接種率(表7)について、神奈川県は調査対象者は接種歴が全て不明であり接種率は算出できなかったが、神奈川県を除く各都府県では50%程度であった。

図6と表8に予防接種歴別抗体保有状況を示す。EIA 価4.0以上の抗体保有率は、1回接種群では、1歳16.0%(4/25名)、2歳14.3%(1/7名)及び3～4歳37.5%(3/8名)であったが、2歳及び3～4歳は、対象者が少なく判断は難しい。2回接種群では、1歳66.7%(6/9名)、2歳52.4%(11/21名)、3～4歳44.8%(13/29名)であり、対象者数の少ない1歳を除いて、低い抗体保有率であった。

D) 地域別抗体保有状況

図5と表2に、4都府県別水痘抗体保有状況を示した。本年度は、千葉県(344名)、東京都(344名)、神奈川県(270名)及び大阪府(260名)で調査が行われた。各都府県別の全年齢の抗体保有率は、それぞれ58.7%、79.9%、67.8%及び89.2%であった。千葉県では、他都府県と比べて抗体保有率が低く、また昨年度の同県の結果と比べても抗体陽性率が低かった。特に20歳代抗体陽性率が80%以下、30歳代以降は60%前後であった。定期接種による水痘ワクチンの接種機会があったと考えられる1~4歳の抗体保有率は千葉県27.2%、東京都37.5%、神奈川県38.9%及び大阪府43.5%であった(表2)。

3. 考察および今後の流行予測

2018年度に水痘抗体保有状況の調査が実施された都道府県は4都府県(1,218名)と、前年度とほぼ同じであり、他疾病の調査と比べて少なかった。水痘ワクチン定期接種化後における、日本での抗体保有状況を正確に把握するためには、さらに調査数を増やしていくことが必要である。

1~9歳までの1回以上の水痘ワクチン接種率は89.5%であり、若年層において定期接種化以降、予防接種率は高くなってきている。しかしながら、接種後罹患(breakthrough)水痘を予防するために必要とされる2回以上の接種率は、2歳が72.4%、3~4歳群においても74.4%であり、前年度と同等であった。

また、抗体保有率に関しては、1歳25.8%、2歳47.9%及び3~4歳39.3%であった。1歳の抗体保有率は前年度(32.1%)より低下したが、2歳および3~4歳は同程度であった。定期接種化以降、水痘患者数が激減したが、小児における抗体保有率は依然として低い水準のままである。今後も、その推移に関して、しっかり注視していく必要がある。

抗体保有率は年齢が上がるに従って上昇したが、20歳未満には多数の感受性者が残されている。2014年調査開始以降20歳以上の全体の抗体保有率は約95%で推移していたが、2018年度の調査では85%と低く、20歳以上に多くの感受性者(15.0%)が認められた。千葉県において抗体保有率が、他都府県と比べて、また昨年度と比べて、20歳代以降で特に低かった。この原因については明らかでない。いずれにしてもこれまでと同様、成人に一定の割合で水痘感受性者が存在する。水痘は成人が罹患すると重症化することや、妊婦が感染すると胎児に先天性感染を引き起こすこともあるため、成人の感受性者への対応を検討すると共に、接種歴・罹患歴が確実ではない場合はワクチン接種が勧められる。また、近年の水痘患者数の減少に伴い、带状疱疹患者の増加が指摘されている。特に高齢者に対しては带状疱疹の予防接種が必要と考えられる(2016年3月に水痘ワクチンの効能・効果に50歳以上の者に対する带状疱疹の予防が追加され、さらに新規組換え带状疱疹ワクチンが2018年3月に承認、2020年1月に販売開始された)。

定期接種化により水痘の発症者数は大きく減少し、またそれを維持していることから⁴⁾、水痘の予防にワクチンが効果を発揮していることは確実であり、今後2回接種率をより高め、維持していくことが重要である。

今後も抗体保有率及び感受性者がどのように推移していくか注視するとともに予防接種施策に反映させていく必要がある。

4. 参考文献

- 1) 国立感染症研究所: 水痘ワクチンに関するファクトシート(平成22年7月7日版)(作成: 倉根 一郎, 井上 直樹, 多屋 馨子. 協力: 浅野 喜造, 吉川 哲史, 予防接種推進専門協議会)
[<http://www.mhlw.go.jp/stf2/shingi/2r9852000000bx23-att/2r9852000000bxqx.pdf>]

- 2) Takahashi M, et al. : Live vaccine used to prevent the spread of varicella in children in hospital. Lancet. 304: 1288-1290, 1974.
- 3) Nguyen HQ, et al. Decline in mortality due to varicella after implementation of varicella vaccination in the United States. N Engl J Med. 352: 450-458, 2005.
- 4) 厚生労働省／感染症発生動向調査年別報告数一覧（定点把握）
[<https://www.niid.go.jp/niid/ja/ydata/9005-report-jb2018.html>]

国立感染症研究所 ウイルス第一部第四室
感染症疫学センター第三室

表1 都道府県別年齢群別水痘感受性調査対象者数

The number of examinees for varicella susceptibility investigation by age group in each prefecture

都道府県 Prefecture	合計 Total	年齢群(歳) Age group (years)								
		0-1	2-3	4-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-39	40-
合計 Total	1218	89	83	123	107	104	112	111	164	325
千葉 Chiba	344	16	12	42	28	17	22	22	49	136
東京 Tokyo	344	27	26	33	38	35	38	38	41	68
神奈川 Kanagawa	270	30	30	30	30	30	30	30	30	30
大阪 Osaka	260	16	15	18	11	22	22	21	44	91

表2 都道府県別水痘抗体保有状況
Age group distribution of EIA-IgG antibody titer to varicella-zoster virus by prefecture

都道府県／年齢群(歳) Prefecture/ Age group (years)	合計 Total	EIA-IgG価 EIA-IgG titer							
		<4.0	4.0 / 7.9	8.0 / 15.9	16.0 / 31.9	32.0 / 63.9	64.0 / 127.9	128.0 /	
千葉 Chiba									
Total	344	142	50	46	51	32	22	1	
0	4	3	0	1	0	0	0	0	
1	12	8	0	2	2	0	0	0	
2	9	7	2	0	0	0	0	0	
3-4	12	9	1	1	0	0	1	0	
5-6	19	12	5	1	0	1	0	0	
7-9	14	8	2	2	1	1	0	0	
10-14	28	9	2	3	4	5	5	0	
15-19	17	4	7	1	4	0	1	0	
20-24	22	5	4	5	4	4	0	0	
25-29	22	5	6	3	2	4	1	1	
30-34	27	12	5	3	2	2	3	0	
35-39	22	8	6	4	2	1	1	0	
40-	136	52	10	20	30	14	10	0	
東京 Tokyo									
Total	344	69	56	85	59	61	14	0	
0	6	6	0	0	0	0	0	0	
1	21	16	3	0	1	1	0	0	
2	13	7	3	2	1	0	0	0	
3-4	22	12	6	3	1	0	0	0	
5-6	8	5	1	1	0	1	0	0	
7-9	16	5	2	4	2	2	1	0	
10-14	38	8	6	12	4	7	1	0	
15-19	35	2	5	10	9	6	3	0	
20-24	38	4	9	11	9	4	1	0	
25-29	38	3	9	9	6	8	3	0	
30-34	20	1	2	9	4	3	1	0	
35-39	21	0	2	8	4	6	1	0	
40-	68	0	8	16	18	23	3	0	
神奈川 Kanagawa									
Total	270	87	39	51	57	26	8	2	
0	9	8	0	0	0	1	0	0	
1	21	15	2	1	1	1	0	1	
2	18	7	2	3	5	0	1	0	
3-4	15	11	2	0	0	1	1	0	
5-6	13	7	2	0	2	2	0	0	
7-9	14	9	0	1	2	1	1	0	
10-14	30	8	4	9	6	2	0	1	
15-19	30	6	6	9	8	1	0	0	
20-24	30	6	4	5	9	6	0	0	
25-29	30	6	5	10	5	4	0	0	
30-34	15	2	4	1	4	3	1	0	
35-39	15	2	1	7	2	2	1	0	
40-	30	0	7	5	13	2	3	0	
大阪 Osaka									
Total	260	28	33	26	98	52	11	12	
0	8	8	0	0	0	0	0	0	
1	8	7	1	0	0	0	0	0	
2	8	4	3	0	1	0	0	0	
3-4	7	2	4	0	0	1	0	0	
5-6	11	3	6	2	0	0	0	0	
7-9	7	3	1	1	1	1	0	0	
10-14	11	0	4	2	4	1	0	0	
15-19	22	0	1	3	10	6	0	2	
20-24	22	0	2	4	10	3	1	2	
25-29	21	0	2	1	8	6	2	2	
30-34	23	0	5	3	9	5	0	1	
35-39	21	0	1	2	10	6	1	1	
40-	91	1	3	8	45	23	7	4	

表3 年齢別水痘抗体保有状況
Age distribution of EIA-IgG antibody titer to varicella-zoster virus

年齢(歳) Age (years)	合計 Total	EIA-IgG価 EIA-IgG titer						
		<4.0	4.0 / 7.9	8.0 / 15.9	16.0 / 31.9	32.0 / 63.9	64.0 / 127.9	128.0 /
Total	1218	326	178	208	265	171	55	15
0	27	25	0	1	0	1	0	0
1	62	46	6	3	4	2	0	1
2	48	25	10	5	7	0	1	0
3	35	22	10	0	1	1	1	0
4	21	12	3	4	0	1	1	0
5	22	11	7	2	1	1	0	0
6	29	16	7	2	1	3	0	0
7	21	14	1	2	1	1	2	0
8	19	9	1	5	2	2	0	0
9	11	2	3	1	3	2	0	0
10	21	8	6	3	1	3	0	0
11	14	4	1	2	4	2	1	0
12	26	6	4	6	6	3	1	0
13	26	4	2	7	6	3	3	1
14	20	3	3	8	1	4	1	0
15	18	4	2	2	6	3	1	0
16	21	4	5	5	5	1	1	0
17	17	1	5	6	1	2	2	0
18	25	2	2	7	10	3	0	1
19	23	1	5	3	9	4	0	1
20	20	2	2	7	5	2	1	1
21	18	0	2	7	5	4	0	0
22	25	3	5	6	8	2	1	0
23	23	5	6	3	7	2	0	0
24	26	5	4	2	7	7	0	1
25	25	1	3	8	4	5	2	2
26	19	4	9	2	1	2	0	1
27	27	4	5	3	8	4	3	0
28	18	3	3	5	3	4	0	0
29	22	2	2	5	5	7	1	0
30	17	3	3	3	1	6	0	1
31	14	2	3	2	4	2	1	0
32	21	4	3	5	7	1	1	0
33	15	3	1	3	5	2	1	0
34	18	3	6	3	2	2	2	0
35	16	3	4	1	2	6	0	0
36	16	1	1	4	5	3	2	0
37	15	2	2	4	4	2	1	0
38	14	0	2	7	2	2	0	1
39	18	4	1	5	5	2	1	0
40	11	2	2	0	4	3	0	0
41	18	3	3	3	5	4	0	0
42	18	4	0	5	5	1	2	1
43	9	4	0	3	2	0	0	0
44	16	4	0	2	8	1	0	1
45	12	2	3	1	4	2	0	0
46	12	1	3	1	5	0	2	0
47	12	1	0	1	5	4	1	0
48	13	2	2	0	3	5	1	0
49	14	4	0	2	5	3	0	0
50	16	2	1	1	11	1	0	0
51	24	4	0	8	5	6	0	1
52	16	2	2	2	4	2	4	0
53	9	1	0	1	1	1	5	0
54	10	4	3	1	2	0	0	0
55	14	2	1	2	2	5	2	0
56	13	1	0	3	3	5	1	0
57	10	2	1	0	4	2	1	0
58	6	1	0	1	3	0	1	0
59	9	1	1	0	3	4	0	0
60	6	0	1	0	4	1	0	0
61	8	1	1	2	1	3	0	0
62	6	2	0	1	3	0	0	0
63	5	0	0	1	3	0	1	0
64	5	1	0	0	0	2	1	1
65	7	1	0	1	2	3	0	0
66	7	1	0	1	2	2	1	0
67	2	0	0	0	2	0	0	0
68	3	0	1	1	0	1	0	0
69	3	0	1	1	1	0	0	0
70-	11	0	2	4	4	1	0	0

表4 年齢群別水痘抗体保有状況
Age group distribution of EIA-IgG antibody titer to varicella-zoster virus

年齢群 (歳) Age group (years)	合計 Total	EIA-IgG価 EIA-IgG titer						
		<4.0	4.0 / 7.9	8.0 / 15.9	16.0 / 31.9	32.0 / 63.9	64.0 / 127.9	128.0 / /
Total	1218	326	178	208	265	171	55	15
0	27	25	0	1	0	1	0	0
1	62	46	6	3	4	2	0	1
2	48	25	10	5	7	0	1	0
3-4	56	34	13	4	1	2	2	0
5-6	51	27	14	4	2	4	0	0
7-9	51	25	5	8	6	5	2	0
10-14	107	25	16	26	18	15	6	1
15-19	104	12	19	23	31	13	4	2
20-24	112	15	19	25	32	17	2	2
25-29	111	14	22	23	21	22	6	3
30-34	85	15	16	16	19	13	5	1
35-39	79	10	10	21	18	15	4	1
40-	325	53	28	49	106	62	23	4

表5 乳児月齢別水痘抗体保有状況
Age distribution of EIA-IgG antibody titer to varicella-zoster virus in infants

月齢 (か月) Age (months)	合計 Total	EIA-IgG価 EIA-IgG titer						
		<4.0	4.0 / 7.9	8.0 / 15.9	16.0 / 31.9	32.0 / 63.9	64.0 / 127.9	128.0 / /
Total	27	25	0	1	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0
2	2	2	0	0	0	0	0	0
3	2	2	0	0	0	0	0	0
4	2	2	0	0	0	0	0	0
5	2	2	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0
7	3	3	0	0	0	0	0	0
8	1	1	0	0	0	0	0	0
9	1	1	0	0	0	0	0	0
10	5	3	0	1	0	1	0	0
11	8	8	0	0	0	0	0	0
0-5	9	9	0	0	0	0	0	0
6-11	18	16	0	1	0	1	0	0

表6 予防接種歴別年齢群別水痘感受性調査対象者数

The number of examinees for varicella susceptibility investigation by vaccination history and age group

年齢群 (歳) Age group (years)	合計 Total	予防接種歴 Vaccination history					接種率 Vaccinee (%)
		無 Non-vaccinee A	有 Vaccinee			不明 Unknown E	
			1回 1 dose B	2回以上 ≥2 doses C	その他 Others D		
Total	1218	347	148	112	43	568	46.6
0	27	16	0	0	0	11	0.0
1	62	6	25	9	1	21	85.4
2	48	0	7	21	1	19	100.0
3-4	56	1	8	29	1	17	97.4
5-6	51	3	7	26	1	14	91.9
7-9	51	9	14	9	3	16	74.3
10-14	107	24	35	6	2	40	64.2
15-19	104	35	16	4	5	44	41.7
20-24	112	36	10	2	4	60	30.8
25-29	111	32	9	4	7	59	38.5
30-34	85	18	9	1	4	53	43.8
35-39	79	32	4	0	4	39	20.0
40-	325	135	4	1	10	175	10.0

Vaccinee (%) = (B+C+D) / (A+B+C+D) * 100

※Standard schedule of present immunization program in Japan : 2 doses

表7 予防接種歴別都道府県別水痘感受性調査対象者数

The number of examinees for varicella susceptibility investigation by vaccination history and prefecture

都道府県 Prefecture	合計 Total	予防接種歴 Vaccination history					接種率 Vaccinee (%)
		無 Non-vaccinee A	有 Vaccinee			不明 Unknown E	
			1回 1 dose B	2回以上 ≥2 doses C	その他 Others D		
合計 Total	1218	347	148	112	43	568	46.6
千葉 Chiba	344	126	37	42	14	125	42.5
東京 Tokyo	344	130	75	45	16	78	51.1
神奈川 Kanagawa	270	0	0	0	0	270	0.0
大阪 Osaka	260	91	36	25	13	95	44.8

Vaccinee (%) = (B+C+D) / (A+B+C+D) * 100

※Standard schedule of present immunization program in Japan : 2 doses

表8 予防接種歴別水痘抗体保有状況
Age group distribution of EIA-IgG antibody titer to varicella-zoster virus by vaccination history

予防接種歴／年齢群（歳） Vaccination history／ Age group (years)	合計 Total	EIA-IgG価 EIA-IgG titer							
		<4.0	4.0 / 7.9	8.0 / 15.9	16.0 / 31.9	32.0 / 63.9	64.0 / 127.9	128.0 / /	
無 Non-vaccinee									
Total	347	71	32	59	84	76	20	5	
0	16	15	0	1	0	0	0	0	
1	6	6	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	
3-4	1	0	0	1	0	0	0	0	
5-6	3	0	0	2	0	1	0	0	
7-9	9	2	1	2	1	2	1	0	
10-14	24	4	2	4	4	8	2	0	
15-19	35	2	4	5	13	9	1	1	
20-24	36	5	5	9	8	9	0	0	
25-29	32	2	6	6	5	8	4	1	
30-34	18	6	3	3	3	2	1	0	
35-39	32	4	2	8	7	8	2	1	
40-	135	25	9	18	43	29	9	2	
有 1回 Vaccinee 1 dose									
Total	148	59	29	24	23	6	7	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	25	21	3	0	0	1	0	0	
2	7	6	0	0	1	0	0	0	
3-4	8	5	2	1	0	0	0	0	
5-6	7	4	2	1	0	0	0	0	
7-9	14	6	3	2	2	1	0	0	
10-14	35	8	7	10	5	2	3	0	
15-19	16	0	5	4	5	0	2	0	
20-24	10	2	1	2	5	0	0	0	
25-29	9	2	2	2	1	1	1	0	
30-34	9	2	2	1	3	0	1	0	
35-39	4	2	1	0	0	1	0	0	
40-	4	1	1	1	1	0	0	0	
有 2回以上 Vaccinee ≥2 doses									
Total	112	52	35	12	7	5	1	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	9	3	1	2	3	0	0	0	
2	21	10	8	2	1	0	0	0	
3-4	29	16	9	1	1	1	1	0	
5-6	26	14	10	1	0	1	0	0	
7-9	9	5	1	2	0	1	0	0	
10-14	6	1	1	1	1	2	0	0	
15-19	4	0	2	2	0	0	0	0	
20-24	2	0	2	0	0	0	0	0	
25-29	4	2	1	1	0	0	0	0	
30-34	1	1	0	0	0	0	0	0	
35-39	0	0	0	0	0	0	0	0	
40-	1	0	0	0	1	0	0	0	

※Standard schedule of present immunization program in Japan : 2 doses

図1 年齢別水痘抗体保有状況，2018年

Age distribution of EIA-IgG antibody positives to varicella-zoster virus, 2018

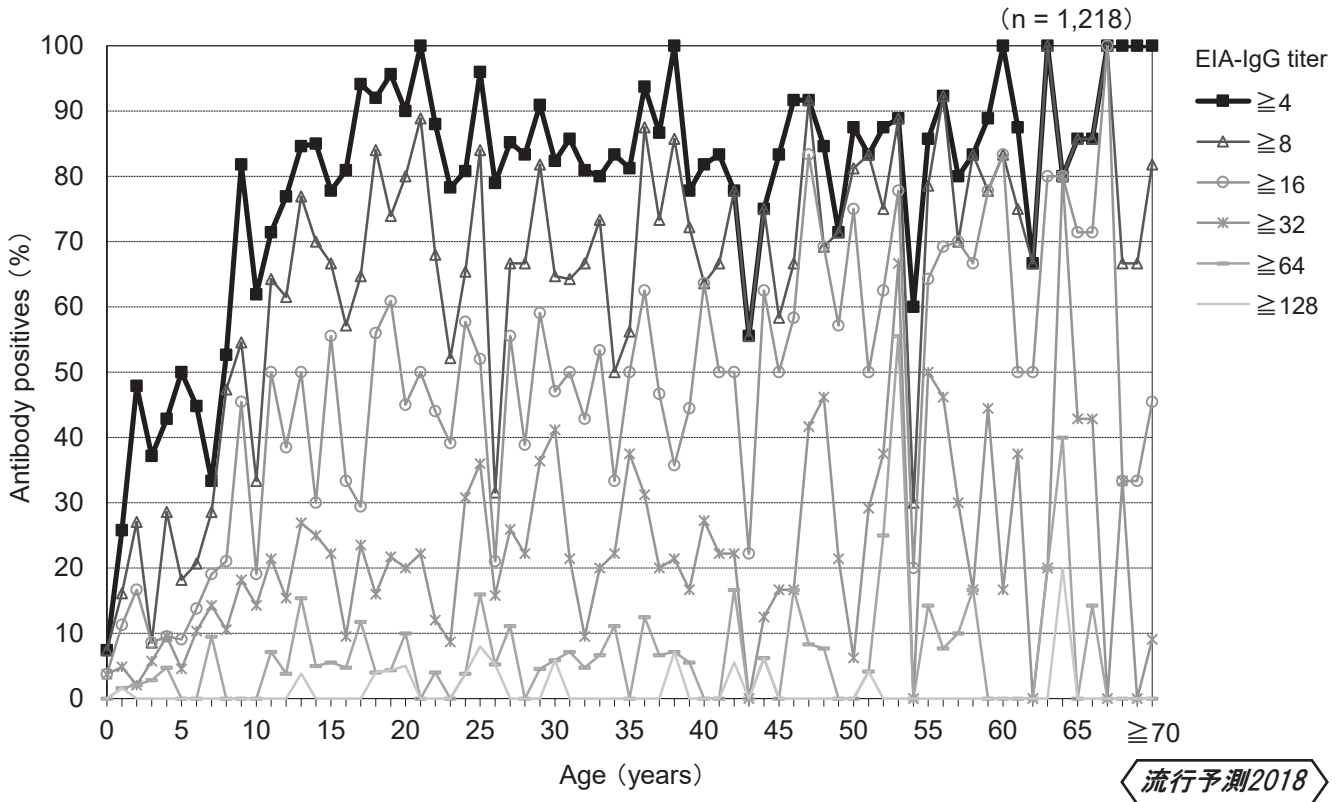


図2 年齢群別水痘抗体保有状況，2018年

Age group distribution of EIA-IgG antibody positives to varicella-zoster virus, 2018

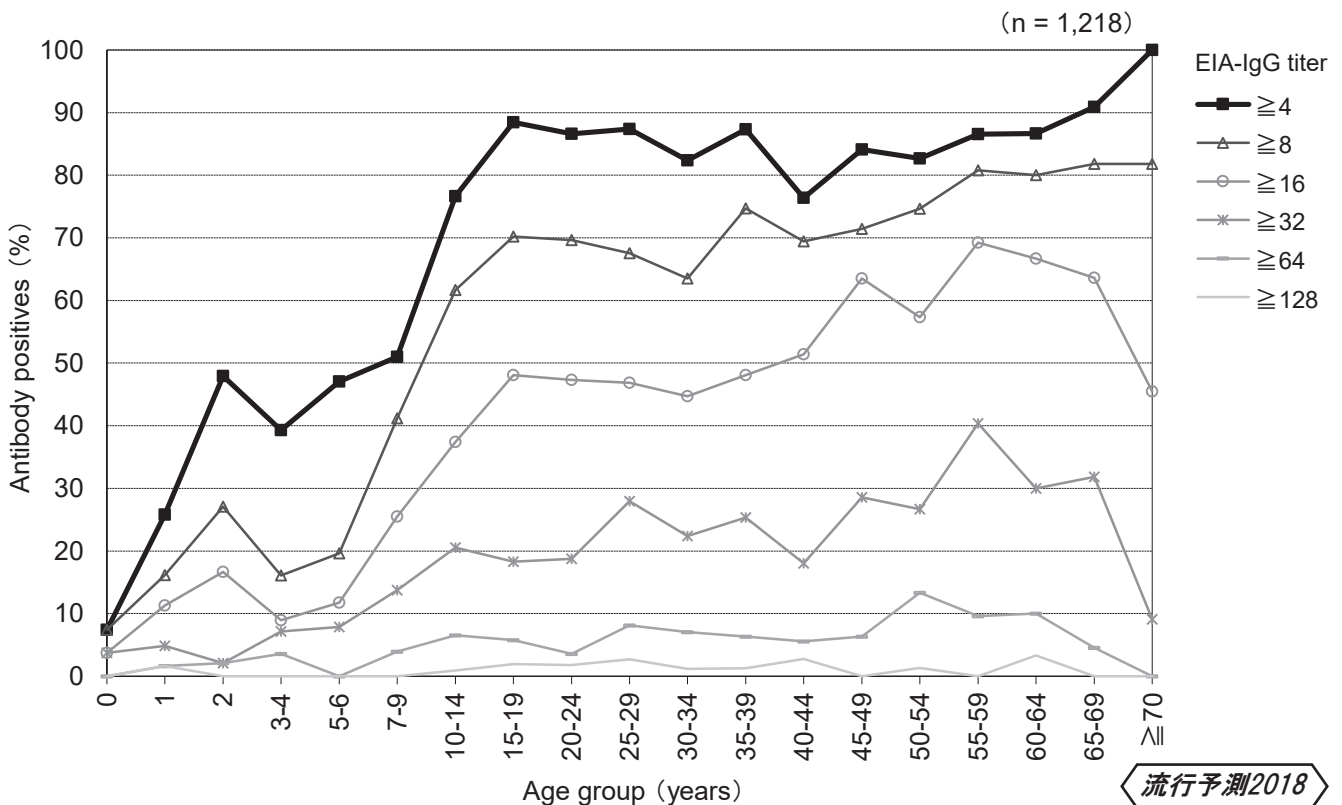
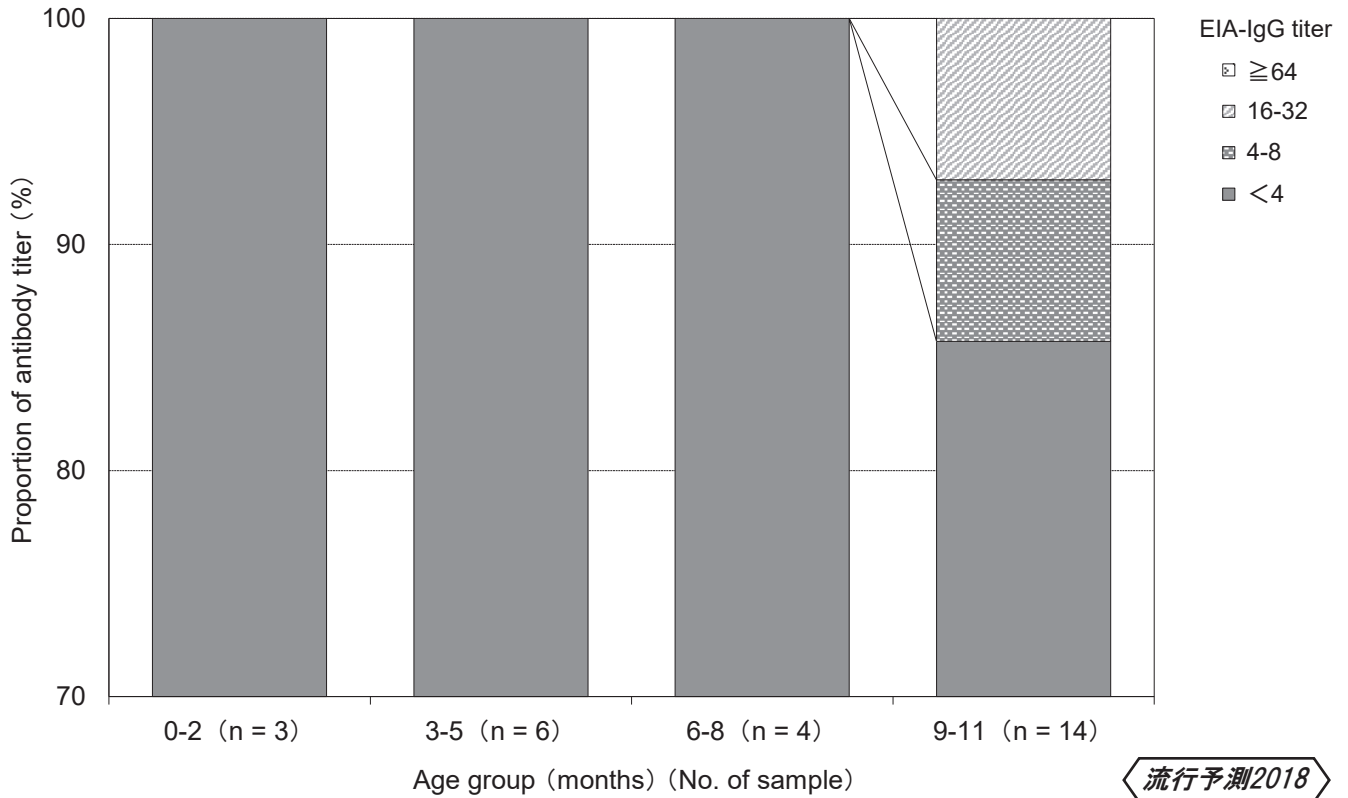


図3 乳児月齢群別水痘抗体保有状況，2018年

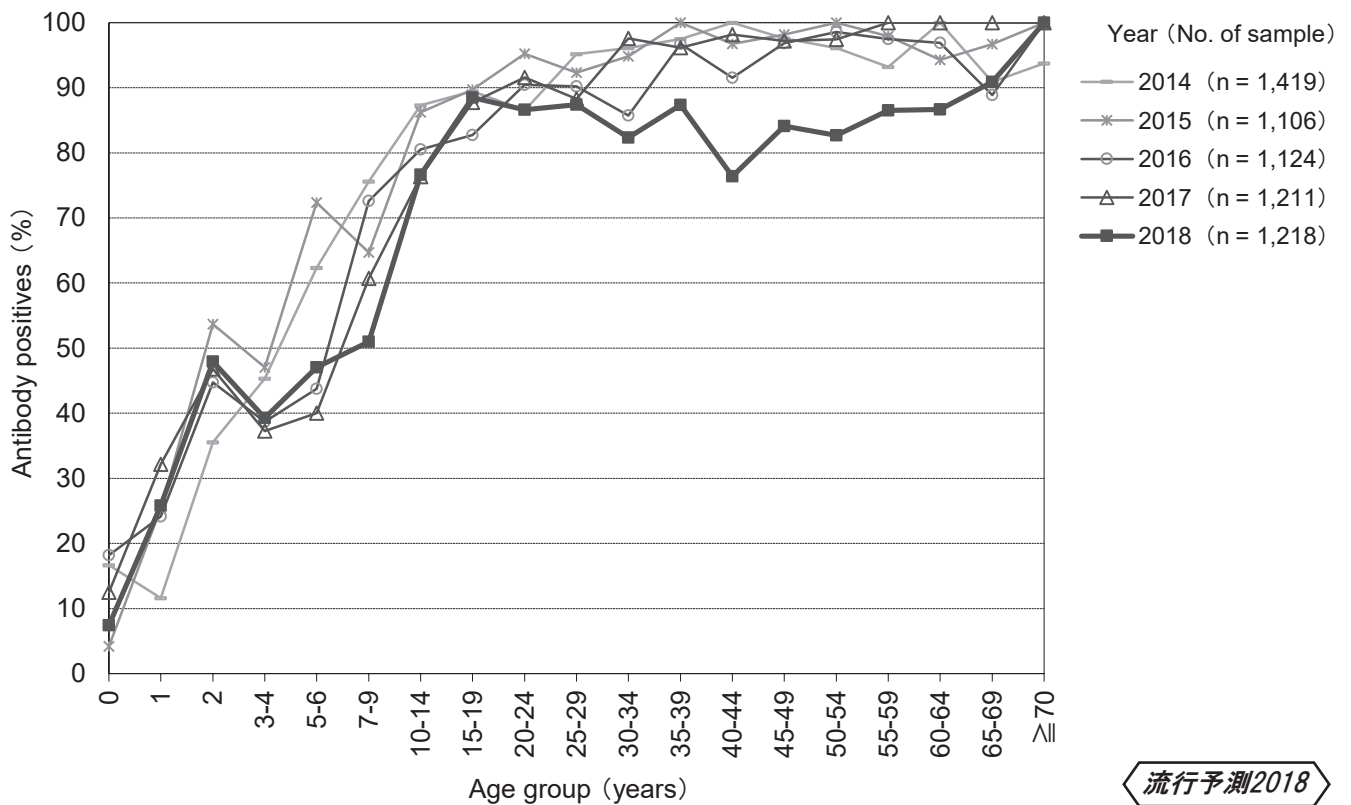
Age group distribution of EIA-IgG antibody positives to varicella-zoster virus in infants, 2018



流行予測2018

図4 年齢群別水痘抗体保有状況 (EIA-IgG値 ≥ 4) の年度別比較

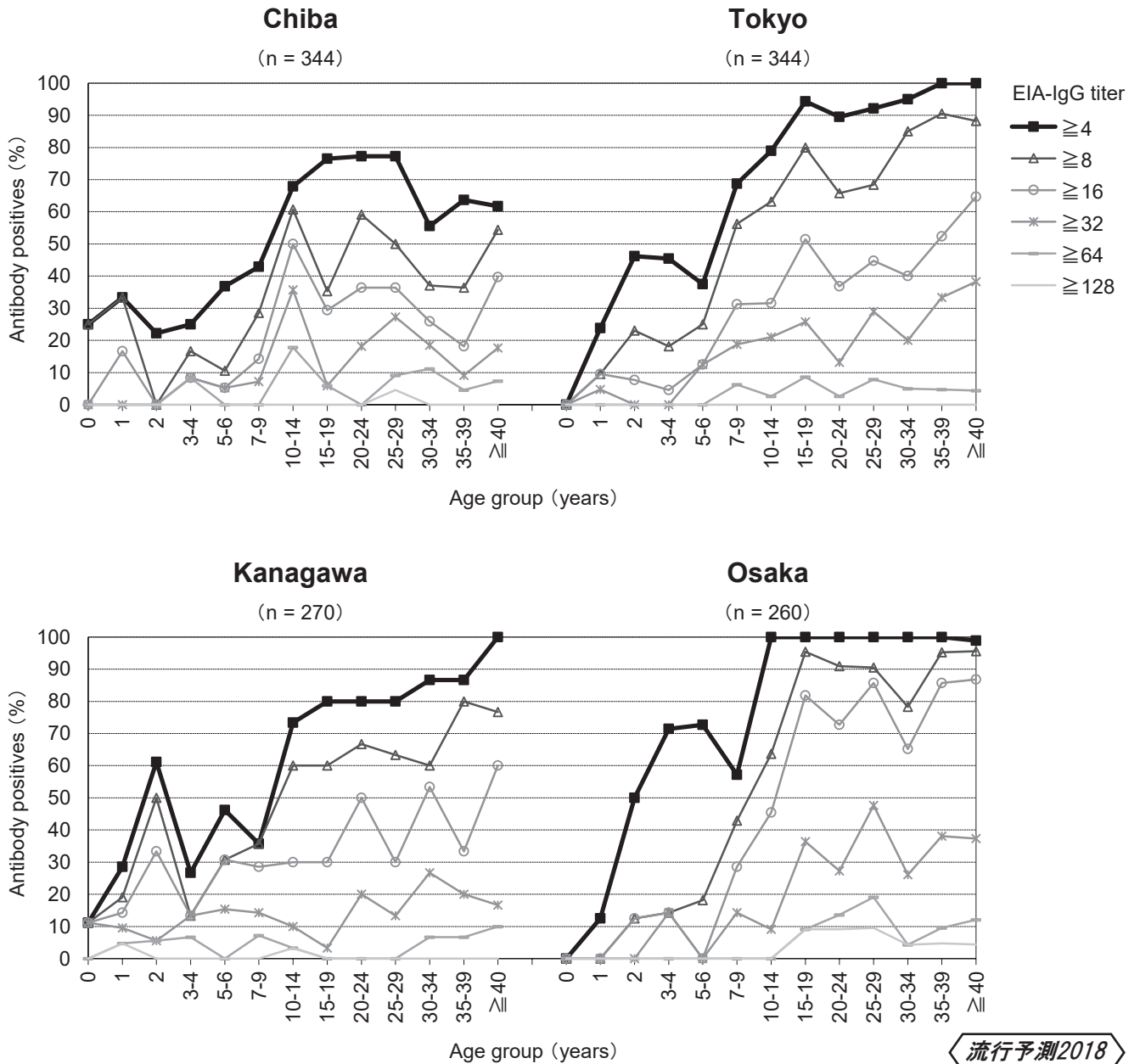
Age group distribution of EIA-IgG antibody positives (EIA-IgG titer ≥ 4) to varicella-zoster virus in different years



流行予測2018

図5 都道府県別水痘抗体保有状況，2018年

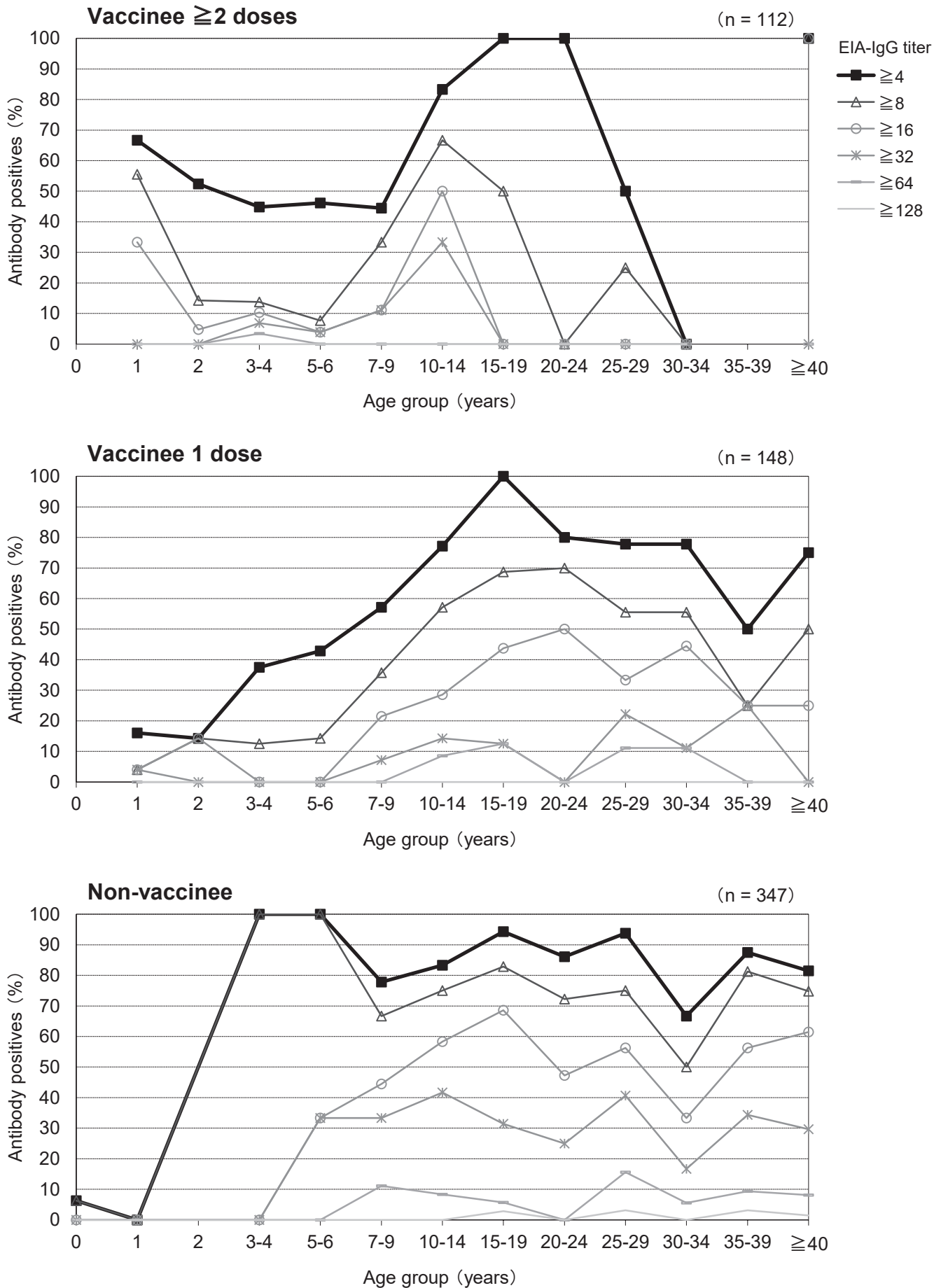
Age group distribution of EIA-IgG antibody positives to varicella-zoster virus in each prefecture, 2018



流行予測2018

図6 予防接種歴別水痘抗体保有状況，2018年

Age group distribution of EIA-IgG antibody positives to varicella-zoster virus by vaccination history, 2018



※Standard schedule of present immunization program in Japan : 2 doses